

令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京工業大学	タイプ	A①
事 業 名	日中韓新先進科学技術 4 大学 (T ² KN) 共同教育プログラム		
海外の相手大学	清華大学、韓国科学技術院、南洋理工大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、アジアの最高水準の理工系大学である清華大学と韓国科学技術院とこれまでに構築した共同教育プログラムの実績をもとに、シンガポールの南洋理工大学を連携大学に加えて、研究体験型（学部生対象）と研究中心型教育（大学院生対象）のタイプのプログラムの実現を目指そうとする意欲的な共同教育プログラムの取組である。これまでに清華大学と韓国科学技術院とはダブルディグリーを実施しており、南洋理工大学を加えてジョイントディグリーに発展させる実施計画となっている点は高く評価できる。特に、本事業計画では連携する4大学合同で学位を授与することを実現する計画となっている点も評価に値する。

また、質保証に関しては、ガイドライン作成や教員の国際公募、教職員の能力向上にも努力しており、英語による教授法のFDにも力を入れている等、具体的で工夫が凝らされている点も高く評価できる。更に、本事業で計画している専門性を強みとしながら国や文化、個性の違いを乗り越え知的成果を生み出すという考え方や、研究体験型であっても、言語や文化を学ぶ仕組みになっている点は現在の世界的課題に合致しており高く評価できる。

学生の支援体制についても、インターンシップによる企業体験の機会を確保する等、産業界との連携を図っており、日本人学生派遣の危機管理の面からも評価でき、受入・派遣ともにきめ細やかな対応により学生の生活に支障がない環境整備を整えている。

一方で、学生に修得させる具体的能力として挙げられている「感性やデザイン力」、「問題解決能力」の達成度をどのように測るのかについて更なる検討が望まれる。また、これまでのオンライン教育の経験から、質の保証を伴う単位互換の問題点を抽出したとあるが、どのような問題点が明らかになったのか可視化し、それに基づいてどのような改善の方策を行うかが重要であり、更なる検討が望まれる。また、同窓会ネットワークを卒業・修了後の継続的サポート体制に結びつける仕組みが明確に示されておらず、更なる検討が望まれる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。